令和5年2月10日 第12471号

	- '		• -																					17	- · - •
0	の	0	0	0	0		0	0	の	0	0	0		合	0			0	0					ŀ	हो
"	完了	開発	公共	県営	落 札		土地	土地	辞退	精神	精神	指定		等の	旅券			"	岡山					F	4
	·	許 可	測量	土地	者等		収 用	改 良		通院	通 院	居 宅		指 定	法に				県 庁					1	Į
		を受け	の 終	改良	の決	<u></u>	法に	事業		医 療	医 療	サー		<i>の</i>	基づ	<u>_</u>			文書保			_			
		た	了	事業	定	公	基づく	計画の		を担业	を担火	ビスの		部改工	く事数	告			存	訓		目		厚	į.
		開発行		の 工 事		告	く事業	の変更		当する	当する	の事業		正	務のう	示	。 以 上		分類表	슦		次		J.	11
		為に		完了		Ξ	木の認	の認		医療	医療	木の廃	(県例		う ち 急	<u></u>	上県例		が の 一	令 】		^		7	7
		関					定	可		機関	機関	止	規集		を 要		規集		部					幸	B
		す る 工								の 指	の 指		登 載		する		登載)		改 正						
		事								定	定		<u> </u>		場									多 彳	ě f
IJ		建築	監理	耕地	総務		監理	耕 地		"	健康	指導			国際			"	総務			担		Ī	句
		指導	課	課	学事		課	課			推進	監査・			課				務学事課			当課		ĥ	Li P
		課			課						課	室							課			(室)		~	3 -
																								C	
																			0		0	0	0	0	
																			随 意		随 意	"	二級	"	
																			契約		契約		建築士		
																			の 相 エ	【 企	の 相 エ		\mathcal{O}		目
																			手方の	業	手方の		免 許 の		
																			決定	局】	決定		取消		次
																			,	_	<i>~</i> _		し		
																			総務		警察	"	"	"	担
																			企画		本部へ				当課
																			課		会計課				担当課(室)
																					炢				

◎岡山県訓令第一号

岡山県庁文書保存分類表(昭和三十八年岡山県訓令第二十号)の一部を次のように改正する。

令和五年二月十日

第一表第一分類Rの項を次のように改める。

 \aleph 돒 Н 翭 慾 椛 商工業振 商工団体 技術振興 (#) 驇 経済国際 化 鶊 光 独 翭 雹 綄

第四表第一分類F第二分類3の表第三分類5の項を次のように改める。

_	<u>σ</u>
	申子雷
	申告
-	,,
	"
	ω
	ツ麗
	ステ発
	ンステム 開発
	10
	ジ運
	システム 運用
_	
	10
	グス会会
	システム 保守管理
-	10
_	0
-	

四表第一分類の	G 第	二分類	の主	類1の表第三分類	9 0	項を次のように改め	に	める。											
· ·	95	JI	3	全国知事 会	3	也不	ဒ	中国地域 発展推進 会議	ω	中国圈広域 地方計画推 進会議	3	中四国サ	ω	将来世代 応援知事 同盟	ω	両県知事 会議	ω	 岡山市長 との懇談	岡山市 会の懇
9		学	ω	市町村要 望	ω	地方分権 改革	ω	ンやま創 、城連携 事業	ω										

第四表第一分類G第二分類5の表第三分類3の項及び4の項を次のように改める。

工業統計 調査

ω

ΩI

般

庁 中

知 事 伊

岡

Щ 県

原 木 隆

太

性感染症 対策

慾

柏

ω

委託契約

បា

第四表第一分類P第二分類3の表第三分類3の項から5の項までを次のように改める

第四表第一分類G第二分類5の表第三分類7の項を次のように改める。

M 第二分類 3 数 の 表	1
	
対 類 列類 9 の 表 表 一 表	
<u>ω</u>	
1 1 1	
(第三分類) (第三分類) (第三分類) (第三分類)	
A 3 0 0	
分類3の項を次のように改める。 分類3の項を次のように改める。 分類Aの項を次のように改める。 分類Aの項を次のように改める。 一点は	
30 C D C E E E E E E E E E	
一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	
აგ თ	
無 選 選 第 音 画 西 西	
30 5	
指定種台	
ω ω	
群 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
ហ	
副	
E	
ω	
京司票	
30	
調査研究	
υ ₁	

ンンセン 病問題対 結核予防 委託契約 បា 指定医療 機関検査 ω 定期外健 康診断 ω

結核用品 指定医療 機関台帳 30 凩 ဤ Ŋ 報告統計 ω

指定医療機 関の指定・ 辞退・変更

第四表第一分類B第二分類3の表第三分類Bの項及びCの項を次のように改める。

慾

粨

 ω

普及啓発

ω

小児慢性

慾

柏

Ω

補助金 負担金

ΩI

対象患認定 琳 Ŋ

医療給付

បា

認定審査

 ω 掘

囯 \vdash

診療報酬 の過誤

ω

半 版 次 付

٥

委託契約

10

小児慢性日 常生活用具 給付事業

			. 笠.		
T		0	四	G)
米田製冗	薬・同・民	総括	表第一分類 5	ス感染症 対策	新型コロ
	"	游 苗	第四表第一分類P第二分類5の表第三分類0の項及び1の項を次のように改める。	ワクチン 接種	"
	3	ω	の	បា	ΟΊ
	指導取締	例 規	表第三分類 <i>。</i>	第三者認証	II
	ప	10	0 の 1章	5	30
以 部 形 折	諸 届	表	頃及び1の頃		補男金· 交付金
	1	30	頃 を w		Οī
	処分	身分証票	めのようにお		疫学調査
	បា	បា	以めて		IJ
	型	盆	ಾ		iii.

第四表第
邪
分類P等
第
一分類3
D
の表に次の
次
0)
_
項を加える。

患者情報

検

査

Ŋ

入院・療養

បា

集団

|発生

欭 丰 継 បា

対策本部

)	В
特别为义 风	Ť.	特定疾患対策
プライマリーケア 単修会	« 描	指定医療 機関
បា	57	6
神経難病患 者在宅医療 支援事業	補助金· 負担金	指定医
បា	បា	σı
難病相談・ 支援センタ 一事業	難病患者地 城支援対策 推進事業	自立支援
បា	បា	បា
難病ホームヘルパー研修終 アパー研修終 丁者名簿		
30		
対象患者 認定		
បា		
医療給付	・ 格 根	
បា	ω	
指定医療機関	諸届・適 用区分	
6	Ľ	
指 定 医	難病医療 提供体制	
បា	57	
認定審査		
ω		
対策協議会		
ω		

第
匹
表
第四表第
_
分
類
Q
第
分
類
1
0)
表
分類Q第二分類1の表第三
分
類
8
(1)
坦
8
火
_
0
のよ
三分類8の項を次のように
のようにか
のように改め
のように改めて
のように改める。

業

廃止台帳

登録販売 者試験

ω

登録販売 者試験合 格者名簿

30

登録販売 者名簿

30

뺂

压

悍

ᆁ

· 報酬

照会報告

ω

試験検査

身分証明 書

推 巴 日 谷 谷

統

徭

思

(#) Ω

委託契約

Ŋ

災害薬事

٥

∞
介護福祉 士等
JI
3
修学資金 貸付
3
修学資金 補助金
57
修学資金 貸与決定
10
修学資金 管理台帳
10
養成施設 の指定等
30
養成施設 の事業報 告
5
介護技術 講習実施 の届出
သ
外国人介護留 学生奨学金等 支援事業
5

施設

認りを関する

三認

30

認定こど も園運営 指導

ω

被重 指絆 清置児 清虐待

10

児童家庭 支援セン ター

ហ

児童福祉

柏

 ω

更 人 門 門

30

入所施設 運営指導

保育所認 可

30

認育 以可外保 が施設

保育所運 営指導

 ω

思立以思想 学校对称 校科学校

30

県立児童 福祉施設

児童厚生 施設設置

30

児童厚生 施設運営 指導

T施設

第四表第一分類Q第二分類2の表第三分類8の項を次のように改める。

第四表第一分類Q第二分類5の表第三分類1の項及び2の項を次のように改める。

第	
兀	2
[表第一分	囲
類	鶊
類Q第二	総
一分類 5	枯
の 表	3
類5の表第三分類6	里親登録
0)	30
項及び7の項	
を	
次のように改める。	里親指導
めっ	5
ئ م	
	一時里親 推進事業
	5
	里親里子 交歓会
	5 1
	里親研修会
	51
	里親賠償 保険
	5
	ファミリーホーム
	σı

6 措置費 事助 児童保護 事務費補 り金 自立援助ホーム 箹 柏 Ŋ വ Ω 児童福祉 法施行事 務費 県分措置 費 បា Ŋ 児童保護 指導監査 委託費 市町村分 措置費 បា 保育士養 成所補助 金 保護単価 ω ហ 保育研究 団体等補 助金

年長児特 別指導費 加算

Ŋ

保護措置 費請求書

第四 「表第一分類Q第二分類5の表第三分類Aの項を次のように改める。

第四表第一分類Q第二分類6の表第三分類5の項を次のように改める。

Ħ	ţ	7	
4. サンボ・ サンサー大大	况里信付	ŀ	
総括	親権喪失 ・親権停 止	II	
Ŋ	30	បា	
給付費負 担余	児童虐待に 係る重大事 例等検証	補助金	
വ	30	បា	
補助金	防止対策 推進事業		
បា	3		
特定教育 • 保育施	防止対策 支援事業		
30	3		

	АН	AG
企業収益	デジタル化推 進による生産 性向上事業	時短要請 協力金
	JJ	"
	ω	3
	委託契約	"
	5	ე
	補助金	
	ប	

c	л
手当	児童扶養
事務処理 一覧	"
21	ω
	指導監査
	្រែ
処理	受付処理
	ω
支払状況 報告	新規認定請求
	បា
給付費国 庫負担金	描 기
ທ	υ υ
	現 況 届
	ဒ
審査請	播
*	国
0	ω ====
受給者報告	診断書
ω	បា
	台帳請求
	ω
8 % 7	台帳送付
ហ	ω

第四表第一分類R第二分類1の表に次の五項を加える。

			第		1
Ħ	ţ		第四表第一	7	>
子子様もおなりなりなり	况里信付	lt	第一分類の	况里士彐	不去等目
総括	親権喪失 ・親権停 止	¥	9第二分類	子育で世帯へ の臨時特別給 付金 (総括)	"
υı	30	ن ت	5 の	5	ಏ
給付費負 担金	児童虐待に 係る重大事 例等検証	補助金	分類Q第二分類5の表第三分類Eの項及びFの項を次のように改める。	子育て世帯への 臨時特別給付金 (国庫補助)	研修・指導
υı	30	OΊ	E O	5	υ
補助金	防止対策 推進事業		県及びFの 頃	子育で世帯生活支援特 別給付金(国庫)補助 金(その他世帯分)	審査請求
ن ت	3		頃 を 20	5	5
特定教育 •保育施	防止対策 支援事業		伙のように	子育で世帯への臨 時特別給付(先行 給付・国庫補助)	調查
30	ω		改め	۷٦ ت	υ υ
			る。	子育で世帯への臨 時特別給付(追加 給付・国庫補助)	児童手
桓				の離 追加 助)	账
υ				υ	υ
処遇改善 等加算		啓発活動			児童手当 事務費交 付金
បា		3			5
人材確保		子ども虐 待防止専 門本部			支給状況 報告
បា		ω			ω
子育て支 援情報発		接近禁止命令			指導・監 査
ω		30			υ
		要保護 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大			子育て世 帯臨時特 例給付金
		10			IJ
		児童福祉法 第28条に 基づく措置			子ども・子 育て支援事 業補助金
		ယ			-

	第四	O	第四	បា	第第四四	С	第四	В	第四	AL	AK	AJ
&∩ſI	第四表第一分類S第二分類3の表第三分類7の項を次のように改める。		第四表第一分類S第二分類1の表第三分類Cの項を次のように改める。	労働福祉	第四表第一分類S第二分類1の表第三分類5の項を次のように改める。第四表第一分類R第二分類9の表を削る。	アートプロジェクト	第四表第一分類R第二分類6の表に次の一項を加える。	グリーンバイオ・プロジェクト	第四表第一分類R第二分類3の表第三分類Bの項を次のように改める。	酒類販売 事業者支 接金	飲食店等 一時支援 金	力向上支 援事業
	3第二分類3		3第二分類1	答 括	3第二分類。	11	2第二分類 6	JJ	K第二分類 9	JJ	"	JJ
	3 の 実		の実	1	I 9 の の 表 表	3	の実	ω	3 の 実	ω	ω	ω
県外合同	3第三分類7		3第三分類 2	中小企業 労務管理 改善指導	(第三分類)	実行委員会	3に次の一項	研究委託	X第三分類 P	n n	"	IJ
	イ の 項		の項	ω	5 の 項	57	歩を加	υ	の項	បា	បា	ΟΊ
就職支援	を次のよ		を次のよ		を次のよ		える。	国庫補助	を次のよ	"	"	JJ
	りに		りにみ		り に み			10	りにみ	ĆΊ	5	ហ
ΙJUΆ	める。		める。		め る。			県費補助	める。			
								υ				
				補助金								
				<u>ე</u>								
3年以内既卒												
東京23区から				労働福祉施設								
				ω								
東京23区からの妣				(田) (田) (田)								
-				10								
_				光衛								
				労働安全 衛生								
				ω								

2	第 四	Н	第 四	∞	第 四	Þ	第 四	C	第 四	9	第 四	7
養緊振興	第四表第一分類以	養鶏振興	第四表第一分類V第二分類2の表第三分類1の項を次のように改める。	任意共済	第四表第一分類5	地域農業推進対策	第四表第一分類5	在籍型出 支援	第四表第一分類S第二分類3の表に次の	水職・人・水	第四表第一分類の	ーン就職
"	分類V第二分類6の表第三分類2の項を次のように改める。	JI .	>第二分類。	JI .	分類T第二分類3の表第三分類8の項を次のように改める。	JI .	分類T第二分類1	JI .	5第二分類。	"	分類S第二分類3の表第三分類9の項を次のように改める。	"
သ	6 の 主	ω	2 の 実	ω	3 の 主	ω	I の 主	បា	3 の 主	ω	3 の 実	ω
"	&第三分類。	描	3第三分類	建物共済	&第三分類。	補助金	の表第三分類A				改第三分類 6	説明会· 面接会
<u>ග</u>	2 の 項	ω	I の 佰	ω	8 の 佰	10	A の 佰		を加		9 の 佰	IJ.
))	々を次のよる		々を次のよう	濃機 具共	々を次のよる	農業経営 基盤強化 促進対策	の項を次のように改める。		項を加える。	雇用情勢	気を次のよる	協定
σı	りにみ		りにみ	ω	うにみ	ហ	りにみ			ω	りに	30
"	める。	補助金	める。	枡	める。	市町村基本構想	める。			新規学卒者 求人・求職 ・就職状況	める。	一ン就職相談
Ω		10		បា		បា				ω		ω
養豚団地		ふ化業者 登録				認定農業						
ĆΊ		បា				បា						
復命書		鶏卵価格 安定				人・膿揺						者再チャレンジ応接企業
ω		បា				10						ن ت
国庫補助												の就職支援事 業 (総括)
10												ω
県費補助												職支援事業 (契約 ・業者登録)
ŰΊ												10
-												

第四表第一分類V第二分類7の表第三分類1の項を次のように改める。

-	_
病予防	家畜伝染
死亡牛検査	# 5 まん延防
IJ	បា
高病原性 ルインフ ルエンボ	まん延防止
	30
B S E	発生予防
IJ	ω
П	輸出入檢查
IJ	បា
	自衛防疫
ΟΊ	បា
手当金	病性鑑定
10	បា
	年報・月
	10
	補 男 肏
	10
	馬事衛生対策
	ហ
	i I

A 木質バイ 総 括 3

បា

燃料調達 計画確認

10

第四表第一分類Y第二分類3の表第三分類Aの項を次のように改める。

第四表第一分類Y第二分類6の表第三分類7の項を次のように改める。

7/4	7	
則	県行造林	
	ji	
	ω	
	財産管理	
	30	
	林産物の処分	
	10	
	使用許可	
	10	
	保険契約	
	10	

この訓令は、公布の日から施行し、令和三年度以降に完結した文書から適用し、令和二年度以前に完結した文書については、なお従前の例による。

岡山県庁文書保存分類表(昭和三十八年岡山県訓令第二十号)の一部を次のように改正する。

令和五年二月十日

第四表第一分類D第二分類2の表第三分類3の項を次のように改める。

畄 Щ 県 知 事

伊 原

木

隆

太

ω	
会計管理者 ・出納員が 備える帳簿	
"	
ω	
子算現額 状況簿	
٥٦	
資金交付 等等 理	
ΟΊ	
後	
Н	
炭 田 簿	
ΟΊ	
小切手振出 兼隔地払送 達受託簿	
ΟΊ	
半	
ហ	

第四表第一分類D第二分類9の表第三分類8の項を次のように改める。

∞	
崖	
想	
而格	
, i	
<u> </u>	
单	
裲	
ω	
転者台	
Н	
安全運転管理者	
ယ	
アルコール検査記録簿	
н_	

第四表第一分類E第二分類1の表第三分類7の項を次のように改める。

	1
采 貞笛	进 許
の合	蓉
	柏
σı	បា
高等等校 等就等大 会。	私立学校 経常費補 助金
Ω	បា
類学のた めの給付 食	私立学校等 人権教育指 導補助金
បា	បា
幼支補	私立専修 学校設備 補助金
បា	បា
私立小中学 校等修学支 援事業	私立高校特 色教育施設 設備補助金
σı	ហ
子育てのた めの施設等 利用給付費	私立学校 教育改革 補助金
ÓΊ	បា
3.立専門学校 受業料等減免 費負担金	成 学 団 学 会 全 金 ・
Ŋ	បា
対金を入りのである。現場である。	
σı	
	私立高校通 信教育振興 費補助金
	បា
	私立高校 納付金減 免補助金
	បា

第四表第一分類F第二分類0の表第三分類2の項を次のように改める。

	第四	2
	表第一	令
	一 分 類 F	画
	第二分類	n n
	5 の	ر ت
	表第三分類1	災害滅免
	1 の 項	បា
	頃を次のように	職員提案 事務改善
	う に 改	10
	める。	税理士資 格登録
		ОΊ
		税制懇話
		30
\dashv		

庁

般

中

5 国際 原際 原際 の対 カール カール カール カール カール カール カール カール	1	ગ	第四	В	第四三	ω	第四
査 3 (1) 財政 (1) 日本 (1	- 导 融 社	衣第一分類 M	農村地域 工業導入	&第一分類 C		衣第一分類 E
査 3 (1) 財政 (1) 日本 (M第二分類		5第二分類		- 第二分類
査 3 (1) 財政 (1) 日本 (ω	0 の		3 Ø		5 の
査 3 (1) 財政 (1) 日本 (地球温暖 化防止活 動推進員	普及啓発	表第三分類		表第三分類		表第三分類
査 3 (1) 財政 (1) 日本 (<u>.</u>	2 0	10	B O		3 0
査 3 (1) 財政 (1) 日本 (太陽光発電補助金	環境月間	頃を次のよ		頃を次のよ		頃を次のよ
査 3 (1) 財政 (1) 日本 (ω	うに	10	うに		うに
3 補助金 5 化防止実 5 地球温暖 3 省エネル 15 エネ対策 15 気候変動 3 イニネル 4 助金 5 核助金 3 が ボー 15 エネ対策 15 域で変動 3 15 大陽熱利 15 域で変動 3 15 エネ対策 15 対策	電気自動 車等補助 金	環境学習	改める。		以 める。		める。
3 補 助 金 5 地球温暖 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)		ъ		3			
補 助 金 5	太陽熱利 用システ ム補助金	国際協力					
地球温暖 15 大沙川 15 大沙川 15 大沙川 15 大沙州 16 17 17 18 18 18 18 18 18	15	ω					
地球温暖 たぼ 無	家 別 別 別 の の の の の の の の の の の の の	煛					
5 た 大 大 大 大 で に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	15	បា					
出球 球温 一大 大学 に対する でで に対する でで に対する でで に対する に対する に対する に対する に対する にはいる にいい にいい	気候変動 適応	地球温暖 化防止実 行計画					
3	ω	<u> </u>					
省省が、資土工業、		地球温暖 化対策					
		1					
		者資源・ 省エネル ギー					
		i					1

第四表第一分類R第二分類1の表第三分類Yの項からAの項までを次のように改める。

第四表第一分類P第二分類6の表に次の一項を加える。

ふぐ処理

箹

枯1

登録・免 許・認定 申請

掘

画

やぐ処理師 ・認定やぐ 処理師名簿

30

試驗合格 者名簿

30 野

霽 3

愛玩動物 看護師養 成所

> 指定·変 更承認等

> > 30

変 更

帯・岩谷・

RID		ı 第		ı 第			ı 第		第			
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を		四表		一点表		>	四表		四表	AA	Z	К
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を	F)		畜舎特6 法	第一分類	者確保	新規就農	第一分類	労働者協 同組合	第一分類	優良小売 店表彰事 業		
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を	<u> </u>	Y Y 等	<u></u>	V 安		Vilm	T S	24	S S			
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を	"	岩二分類	"	完二分類		×	完二分類	"	2二分類			
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を	ω	2 の	ω	1 の		ω	4 の	ω	0 の	ω		
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を	彭	表 第	Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na N	表 第		盖	· 表 第	例	表 第	採		
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を	K	三分類。	定	三分類の			三分類	規	三分類。	託契約		
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を	30	2 の ===================================	30	り の 5		ហ	A O	30	8 0	<u>ي</u>		
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を		場を次の ₁		頃を次のと	企業等 入促進	搌	埋を次のよ	成立届合併を言む。)	埋を次のよ			
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を		うっ		うっ			ように		ように			
変更 30 事業報告 3 諸 国 3 会 を		改め	0	改め		<u>i</u>	改め		改め			
事業報告 3 請 届 3 **※※4±6	言款変更	る。		る。	襲場管理 事業	当 本 心 東	る。 る。	宣款変更	る。 る。			
3	30				ن ت	ω		30				
3	指導監督				国庫補則 (10年(相談活動		事業報行				
語 届 3 **					-	ļ						
3												
3					国庫補助 (5年保 手)	\$外派遣 千修						
17 5 解散命令 17 新規就農 17 新規就農 17 新規就農	30					i		ω				
17 5 解散命令 17 新規就農 17 新規就農 17 新規就農					青年等就	新規就農 研修		業務停止命 令・役員改 選命令				
30 組織変更 30 部農支援						បា						
30 組織変更 30 部農支援	森林経営 規程承認 •変更					雅 規 規 数 業 業 業 業		解散命令 及び解散 届				
発資車 戦後 戦後 大会 一般な												
就資事 最全業 友会 矮个												
就資事 最全業 友会 矮个	30					! ! ! !						
						就 資金貸大 事業貸付						

この訓令は、

第四表第一分類2第二分類0の表第三分類3の項を次のように改める。

foto-	
第四	ω
[表第一分類 A	測量法運 用
AB第二分類	JI
2	ω
2の表第三分類	"
類 Q	3
Q の 項 を が	中
次のよ	쉐
う に	ω
〈を次のように改める。	承
ବୃ	認
	ω
	l

附 則

公布の日から施行し、令和四年度以降に完結した文書から適用し、令和三年度以前に完結した文書については、なお従前の例による。

	第	
ವ	用 四 表	3
長期優良 住宅促進 法関係	第一分類	側重法連 用
"	A B 第二分	II
ω	類 2	ω
烟	の表	
** E	第三分類	JI
30	類 Q の	3
卟	項を	生
焘	次のよ	爿
30	らうに	3
岗	改め	承
戶	పే.	認
30		3
川田		
蕉		
30		
中		
픠		
ن ت		
L	l	l

令和五年二月十日の指定)の一部を次のように改正し、公布の日から施行する。の指定)の一部を次のように改正し、公布の日から施行する。平成十八年岡山県告示第四百四十三号(旅券法に基づく事務のうち急を要する場合等の岡山県告示第六十一号

本則第三号及び第四号を削る。

原 木

太

◎岡山県告示第六十二号 介護保険法(平成九年法律第百二十三号)第七十五条第二項の規定により、 次のとお

り指定居宅サービスの事業を廃止する旨の届出があった。

令和五年二月十日

事業所の 名称及び所在地

岡山県知事

原 木

太

所在地 ーステーション

2

事業者の名称及び主たる事務所の所在地岡山県津山市加茂町中原六一

2

岡山県津山市加茂町中原六一

三 令和五年二月二日 廃止の届出を受理した年月日

三三七三五〇〇一二七

所在地 医療法人慈恵会

介護保険事業所番号

兀

サービスの種類

Ŧī.

◎岡山県告示第六十三号 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成十七年法律第百二十三号)第五十九条第一項の規定により、

令和五年二月十日

定した。

指定した医療機関

いほり薬局 帯高店 真庭中央薬局

ザグザグ薬局 北畝店

所

倉敷市北畝六—二—三九 真庭市上市瀬三四二 倉敷市帯高一六○─二

在

指定年月日

令和五年一月一日 令和五年一月一日

令和五年二月一日

岡 Ш 県 知

事 伊 原 木

隆

精神通院医療を担当する医療機関を次のとおり指

太

岡山県公報 令和5年2月10日 第12471号

◎岡山県告示第六十四号

について、同法第六十五条の規定によりその指定を辞退する旨の届出を受理した。 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成十七年法律第百二十三号)第五十九条第一項の規定により指定を受けた次の精神通院医療を担当する医療機関

指定を辞退した医療機関

令和五年二月十日

ファーマシィ薬局さにい

所 在

倉敷市玉島黒崎三九一一—五

岡 Ш 県 知 事

伊 原 木

隆

太

令和五年二月四日

辞退年月日

令和五年二月十日改良事業(計画の変更)を次のとおり認可した。土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第四十八条第一項の規定により、◎岡山県告示第六十五号 土地

認可年月日 地区名及び工種 地区名及び工種 地区名

岡山県知事

伊 原 木

隆

太

三

令和五年一月二十七

かんがい排水 工 種

◎岡山県告示第六十六号

土地収用法 のとおり事業を認定した。 (昭和二十六年法律第二百十九号。 以下 「法」という。)第二十条の規定

和五 年二月十日

木

太

新見市役所公用 車等駐車場整備事業

2 収用 岡山県新 見市新見字壱段半田地

業の認定をした理由

つい

あるため、 その他直接その事務又は事業の用に供する施設」に該当する施設を整備する事業で 第三十一号に掲げる「国又は地方公共団体が設置する庁舎、工場、 新見市役所公用車等駐車場整備 法第二十条第一号の要件を充足すると判断される。 事業(以下 「本件事業」とい 、 う。) 研究所、 試験所

法第二十条第二号の要件への適合性について

認められるため、 講じていることから、 本件事業の起業者である新見市は、 本件事業を実施するものであり、本件事業に要する経費に 法第二十条第二号の要件を充足すると判断され 本件事業を遂行するための充分な意思と能力を有 施設集約化事業に伴う公用車 9 い増 て財源に対 いると する

法第二十条第三号の要件への適合性について

まれる。 用車駐車場を増設することで、事故の危険を未然に防止するとともに、 よる迅速な行政対応を確保することで、 本件事業の施行により得られる利益については、 市民サービスの向上に相当の寄与 台数不足が発生して 公用車に が見込

て、複数の候補地について検討を行った結果、最適となる案を採用している。や交通環境への影響が少ないこと、④必要な面積を確保できること等を条件 書館の4施設から近隣の地であること、 また、 本件事業の計画においては、 ①本庁舎、 ②整備費が安価であること、 南庁舎、 新見文化交流館及 辺住民 び

- 文化財包蔵地が確認されていないことから、軽微なものと考えられる。 保護のため特別の処置を講ずべき動植物が見受けられないこと、 土地における文化財保護法(昭和二十五年法律第二百十四号)による周 (平成九年法律第八十一号)等による環境影響評価の対象事業となっておらず、 本件事業の施行により失われる利益については、 本件事業が環境影響評価法 本件事業地内の \mathcal{O}
- から、本件事業は法第二十条第三号の要件を充足すると判断され 本件事業の施行により得られる利益が失われる (1)で述べた得られる利益と(2)で述べた失われる利益とを比較衡量
- 4 法第二十条第四号の要件

ビスの向上及び安心、 い向上及び安心、安全な市民生活につなげるものであること新見市役所公用車等駐車場を必要な面積を確保した敷地に

したがって、本件事業は、法第二十条第四号いることから、合理的であると認められる。また、収用の範囲は、全て本件事業の用に恒 全て本件事業の用に恒久的に供される範囲にとどめられて

の要件を充足すると判断される。

5

判断される。 1から4までに述べたように、 本件事業は、 法第二十条各号の要件を充足すると

である。以上により、 本件事業について、 法第二十条の規定により事業の認定をしたもの

新見市総務部総務課法第二十六条の二第二項の規定による図面の縦覧場所

五.

政令第三百七十二号)に基づき、 [五三] 地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令 特定調達契約につき、 次のとおり落札者等を決定した。 (平成七年

令和五年二月十日

山県知事 伊原木

借入件名及び数量

岡山県立記録資料館システム借上げ 一

式

一借入期間

契約に関する事務を担当する課等の名称及び所在地令和五年三月一日から令和十年二月二十九日まで

岡山県立記録資料館

三

岡山市北区南方二丁目十三番一

落札者を決定した日

兀

落札者の名称及び住所令和五年一月三十一日

五.

NECキャピタルソリューション株式会社岡澤村寺の名利力で作用

山営業所

岡山市北区下石井二丁目二番五号

落木会客

(うち消費税額及び地方消費税の額五○、

二九〇円)

契約の相手方を決定した手続一月当たり五五三、一九〇円

七

- 舟房全 フオ

八

令和五年一月十七

[五四] 県営土地改良事業の施行に伴う工事が完了した。

令和五年二月十日

区

樋 路 池

工

 \emptyset

岡山県知事

伊

令和四

小 完了年月日 ・一二・二七

十四条第二項の規定により、岡山市長から次のとおり公共測量を終了した旨の通知があ〔五五〕測量法(昭和二十四年法律第百八十八号)第三十九条において準用する同法第

令和五年二月十日

岡山県知事

木

太

測
量
区
域
測
量
0
種
類
終
了
年
月
日

令和五年二月十日開発許可を受けた開発行為に関する工事が完了した。「五六」次の者に係る都市計画法(昭和四十三年法律第百号)第二十九条の規定による

岡山県知事 原

伊 木

太

総社市福井字阿部前七二―八、七二―+開発区域又は工区に含まれる地域の名称

許可を受けた者の住所及び氏名

岡山市中区中島四二―一〇ニューシティ花荵一〇二号室

三

友宏

令和四年十月十二日岡山県指令建指第二七六号許可年月日及び許可番号

開発許可を受けた開発行為に関する工事が完了した。〔五七〕次の者に係る都市計画法(昭和四十三年法律第百号)第二十九条の規定による

令和五年二月十日

太

岡山県知事 伊 原 木

総社市窪木字西ノ鼻八八二―一一開発区域又は工区に含まれる地域の 名称

許可を受けた者の住所及び氏名

ル

ル

許可年月日及び許可番号

三

令和四年十二月十六日岡山県指令建指第三六五号

開発許可を受けた開発行為に関する工事が完了した。〔五八〕次の者に係る都市計画法(昭和四十三年法律第百号)第二十九条の規定による

令和五年二月十日

の名称岡山県知事 伊 原 木

太

総社市北溝手字釼先キ四四〇―七開発区域又は工区に含まれる地域の

許可を受けた者の住所及び氏名

三

許可年月日及び許可番号 平 早苗 平 智誠

令和四年十二月二十六日岡山県指令建指第三八七号

令和五年二月十日築士の免許の取消しを行った。〔五九〕建築士法(昭和二十五年法律第二百二号)第九条第一項の規定により、二級建

知 原 木

太

令和五年二月二日免許の取消しをした年月

相続人から、当該建築士が死亡した旨の 黒瀬 勝己 二級建築士 第六五七二日 三 免許の取消しの理由 二 免許の取消しを受けた建築士の氏名、A その \mathcal{O} 級建築士、 二級建築士又は木造建

第六五七二号

当該建築士が死亡した旨のの理由 「 が あ 0

令和五年二月十日築士の免許の取消しを行った。(六○)建築士法(昭和二十五年法律第二百二号)第九条第一項の規定により、二級建

知 原 木

太

令和五年二月二日免許の取消しをした年月

相続人から、当該建築士が死亡三 免許の取消しの理由 貞 二級建築士 第四築士の別及びその者の登録番号 免許の取消しを受けた建築士の氏名、 その \mathcal{O} 級建築士、 二級建築士又は木造建

第四二〇二号

当該建築士が死亡した旨の届出の理由 「 が あ

岡山県公報 第12471号 令和5年2月10日

おり契約の相手方等を決定した。政令第三百七十二号。以下「政令」という。)に基づき、特定調達契約につき、次のと政令第三百七十二号。以下「政令」という。)に基づき、特定調達契約につき、次のと政令第三百七十二号。以下「政令」という。

令和五年二月十日

太

「岡山県警察へは特定役務の名称 リコ プタ \mathcal{O} 12 か月特別点検、 整 備及び修理」 0) 追加修理

契約に関する事務を担当する課等の名称及び所在地令和五年一月二十五日から令和五年三月三十一日まで

三

岡山市北区内山下二丁目四番六号 岡山県警察本部警備部警備課

契約の相手方を決定した日

兀

令和五年一月二十五日

朝日航洋株式会社岡山営業所契約の相手方の名称及び住所

五

岡山市北区下石井二丁目三番八号

七 一五一、九三二、 000円 (うち消費税額及び地方消費税の額一三、

八二二、〇〇〇円)

契約の相手方を決定した手続 (契約方法)

政令第十一条第一項第二号に該当するため

岡山県公報 第12471号 令和5年2月10日

地方公共団体の 山県企業局公告第一号

三百七十二号。 \bigcirc 相手方等を決定した。 以下「政令」という。)に基づき、特定調達契約につき、の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令(平の き、次のとおり契二(平成七年政令第

和五年二月十日

山県公営企業管理者 山

特定役務の名称

理事務所 集中監視制御 システムソ フト ウ エア改修委託

三 契約に関する事務を担当する課等の名称及び所在地令和五年一月二十七日から令和七年三月三十一日まで

岡山県企業局総務企画課

山県岡山市中区古京町一

契約の相手方を決定した日

兀

令和五年一月二十七日

三菱電機株式会社 中国支社契約の相手方の氏名及び住所

五

広島県広島市中区中町七

六

七

契約の相手方を決定した手続

(契約方法)

 \bigcirc

〇 円

(うち消費税額及び地方消費税の額七、

八三〇、〇〇〇円)

八

|令第十一条第一項第二号に該当するため||意契約の理由